

一致スル限リテキルダケドノ組合モマトマツテ行動スルヨウナ方針ヲトル。

ロ、社大黨ニ對シテ

形式上ハドウデアラウトモ黨ト組合トハ同一物デハナイ、ソノ仕事モ構成分子ノ範圍モチガフ、今日ノ農民問題ガ政治化シタトイフチモ、ソレハ經濟的利害ガ全國的性質ヲモタセラレテキタトイフコトデ、政權獲得鬭爭ヘノ參加ノタメニ全農ノ全活動ヲソレニ向ケル時期トナツタトイフノデハナイ。シカモ、ソウイフ時期ニ於イテサヘ、組合ガ經濟的地位ノ改善ノタメニ未組織大衆ヲ奮ヒ立タスコトヲシテキナイ限り、組合トシテノ役割ヲ果スコトハデキナイ。

全農ノ地方組織デハ、社大黨ト密接ナ地方トソウデナイ地方トガアル「社大黨トノ鬭爭上ノ協力ヲ必要トスル情勢ガアレバ一諸ニヤツタラヨイ」トイフ方針ガ正シカツタコトハ今日デモ變リハ

ナイ。

ハ、日消、日本農村協同組合協會

前者ハ事業範圍ガ廣イ、シカシ、政治意識強要ノ弊ガ實際ニ残ツテキテ協同組合運動カラ逸脱セントスル。

後者ハ購販ノ斡旋ヲ主事業トシテマダソノ緒ニツイタニ止マル。農業恐慌ノ激化ト政府ノ産組運動ノ宣傳ニヨツテ地方、トクニ關東、東北デハ協同組合ニ對シテ關心ガ昂ツテキル、農民ハ、肥料ソノ他ノ生産ト生活ノ必需品ヲ買ハウニモ金ガナイカラ、ソレラノ必需品ヲ自分タチノツクツタ農産物ヲ賣ツテモラウコトニヨツテ買ヒタイカラ、コノ運動ニ關心ヲモツヨウニナツタノダ。

全農ハ、勿論、協同組合的活動ヲヤラネバナラヌガ、ソレガ全農ノ第一任務（小作料ト土地ニ對スル鬭爭）ヲ忘レ却ツテ害スルヨウデアレバ避ケネバナラナイ。當面、總本部ハ日消、日協ノ事業、經營狀態及農村ニ於ケル協同組合運動ノ經驗ヲ地方ヘ知ラセ